JASE
現代性教育研究ジャーナル

2016年
No. 66
2016年9月15日（毎月15日）発行

日本性教育協会
THE JAPANESE ASSOCIATION FOR SEX EDUCATION

〒112-0002 東京都文京区小石川2-3-23 春日尚学ビル Tel.03-6801-9307 Mail info_jase@faje.or.jp URL http://www.jase.faje.or.jp 発行人 鈴木 勲 編集人 中山博邦
© JASE. 2016 All Rights Reserved. 本ホームページに掲載している文章、写真等すべてのコンテンツの無断複写・転載を禁じます。

contents

全性連・第46回全国性教育研究大会報告 ……1
Dr.上村茂仁の性の悩みクリニック⑥……9
もっと知りたい男子の性⑮…… 10
今月のブックガイド…… 12
JASEインフォメーション …… 13

■ 全性連・第 46 回全国性教育研究大会報告

“思春期”に寄り添う

はじめに

第 46 回全国性教育研究大会／第 26 回関東甲信越静性教育研究大会が、８月５日（金曜日）～６日（土曜日）の２日間、群馬県前橋市の「前橋テルサ」で開催された。全国有数の猛暑地にもかかわらず全国から 420 名が参集した。

石川哲也全国性教育研究団体連絡協議会（全性連）理事長は、開会挨拶で次の様に述べている。

人間は自分の一生を通して、様々な生活場面で人間関係を築きながら様々なことを感じ、考え、判断し、行動しながら生きています。このような場面で、自分が男であるか女であるかという生物学的な性の事実や自分がその性をどう受けとめ、認識しているかによって判断や行動に差異や特徴が生ずることから、人間の性はその人の人格から切り離すことができないものとなっています。このため、生き方や在り方に深くかかわっているといえます。

特に、児童生徒の心身は、その発達段階に応じて、

石川哲也理事長の開会挨拶

性的成熟と社会的成熟にギャップが生じることは過去も現在も同様ですが、近年、我が国においては、性に関する意識や価値観が多様化し、児童生徒等を取り巻く家庭環境などの社会環境も大きく変化しています。

このような状況の下、児童虐待、性行動の低年齢化、HIV ／ AIDS 患者、感染者の増加、若年者の妊娠など性に関わる事項が社会問題化していまさす。さらに、それらを助長するような出会い系サイトやインターネットなどによる性情報の氾濫、性の商品化が問題になっています。また、多様な性、例えば性同一性障害（性

別違和）への理解と対応も求められています。（中略）

このような、課題に対処するためには、「生命尊重」、「人間尊重」、「男女平等」の精神に基づく性教育が必要です。今日こそ、性教育は、児童生徒等の人格形成のみならず健全な社会の形成にも極めて重要な意義をもつと考えられます。性教育も、様々な社会の変化に対応して変わっていく必要があります。（後略）

石川理事長は、挨拶の最後で、全性連への個人加入も推進していくと述べ、挨拶を終えた。その後、大会実行委員長の宝田智恵子ぐんま思春期研究会会長が、大会の基本テーマについて、次の様に述べた。

宝田智恵子大会実行委員長

複雑化する社会環境の中で、“思春期”の彼らが自立すること、とりわけ自分を守り、人と関わることに喜びを見出しながら成長していくことは容易ではないと、周囲の大人たちは心を痛めています。この現状から発生する子どもたちの悩みや困難に、私たちはどう寄り添い、どう支えればよいのか。時代の変化が速くかつ激しいために過去の経験則では判断し難い問題も多く、私たちにも試行錯誤の日々が続いているのです。

そこで、今大会では基本テーマを『“思春期”に寄り添う』としました。私たちが、正確な基礎知識や必要とされる対応・教育、効果的な支援方法について、性教育を基盤として深く学ぶことによって、「そっと傍らにありながら、しっかりと寄り添う」ことができる力がつくに違いないという思いがコンセプトとなっています。

◇第１日目８月５日（金曜日）

大会第１日目の５日は、午前 10 時からの開会式行事の後、11 時より基調講演（安部恭子氏）、昼食休憩をはさんで、午後１時より特別講演Ⅰ（下村健一氏）、午後２時 35 分より特別講演Ⅱ（本田ヒカル：ピカ子氏／北村邦夫氏）が行われた。

◆基調講演

特別活動における男女の人間関係の指導について

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官の安部恭子氏は、学級活動の具体的な実践事例を紹介しながら男女の人間界関係の指導の在り方について講演させれた。

講演のなかで、性に関する指導の留意点として、次の５点をあげられた。

- ●学習指導要領に示した内容に基づいて指導することが重要。
- ●発達の段階を踏まえる。
- ●学校全体で共通理解を図る。
- ●家庭・地域との連携を推進し、保護者や地域の理解を得る。
- ●集団指導と個別指導の連携を密にして効果的に行う。

安部恭子調査官の基調講演

◆特別講演Ⅰ

10 代からの情報キャッチボール入門

慶應義塾大学特別招聘教授で、元 TBS アナウンサーの下村健一氏は、「10 代からの情報キャッチボール入門～不確かな性情報に惑わされに＜眼力＞を！～」と題し、メディアリテラシー教育の重要性について講演された。下村氏は、ご自分を「情報スタビライザー」と称しているという。スタビライザー（Stabilizer）とは、「安定させる人（もの）」という意味である。

講演は、「ネット、スマホの性情報の危険レベル」の話から始まった。

レベルⅠ：中毒になる（時間を奪われる）
レベルⅡ：悪意ある性情報の被害者になる
レベルⅢ：悪意なき性情報の被害者になる
レベルⅣ：悪意なき発信で加害者になる

下村氏は、模擬授業形式で会場の参加者に問いかけるかたちで講演を進められた。

いくつかの具体例をあげ、それぞれのレベルを解説された。レベルⅠ、Ⅱは、自覚することができ、防ぐことができるし、対策もいろいろあるという。しかし、レベルⅢ、Ⅳは、メディアに対するしっかりした知識（情報リテラシー、メディアリテラシー）をもたないと、自覚がないうちいレベルⅢ、Ⅳの段階になってしまう恐れが誰にもあるという。

下村氏は、レジメの中で、情報リテラシーについて次の様な話を紹介している。

「高校を卒業するまでには、みんなSEXは経験してるよ」
――そんな友達同士のマコトしやかな会話を鵜呑みにして、「どうしよう、自分は立ち遅れている！」と無用に焦る子どもたち。こうした情報のピア・プレッシャーに惑わされないようにするには、どうすればよいのでしょうか。

ジャストミートな対策を考えるべく、冒頭のフレーズをよ～く分析してみましょう。子どもたちを惑わせている犯人の≪一語≫は、何でしょうか？――そう、「SEX」ではなく、核心のキーワードは「みんな」です。

「みんな」って、何人のこと？　学年に100人同級生がいるとしたら、私以外の99人のこと？　いやいや、さすがにそれはないようね。でも、あの子は経験者かも、と思い浮かぶ顔は結構あるぞ。ちょっと数えてみようか。あれ，意外と10人台しかいなかったりして……。

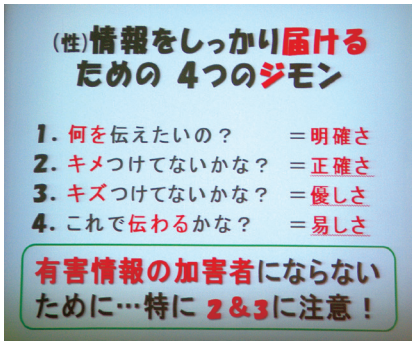
こうやって、なんとなく誘導されそうになる大雑把な単語を、きちんと自分の頭でとらえ直すこと。そんな、≪情報の受け取り方≫の作法が身に付けば、いい加減な性情報に翻弄される恐れは、ずいぶん低減できるでしょう。この作法の習得を目指すのが，「メディアリテラシー教育」です。

性教育、主権者教育、食育、○○教育、……あらゆる教育は、その前提として情報をきちんと受け取る力が求められます。すなわちメディアリテラシー教育は、他の教育分野と並び立つ“柱の1つ”と言うよりは、（性教育も含めた）すべての柱の足元に横たわる“土台”のようなものだと、私は考えています。

下村氏は、「情報に振り回されないための≪4つのギモン≫と≪4つのジモン≫」と題して次の様にまとめている。

＊情報をしっかり受け取るためにつぶやくべき
≪4つの疑問の言葉≫
①「まだ分からないよね？」……新しい話を聞いた時、すぐ決めつけない。もう少し調べてみよう。
②「事実かな？意見・印象かな？」……両者はゴッチャになっていることが多いから、仕分けよう。
③「他の見え方もないかな？」……1つの視点に偏らないで、いろいろな角度からその情報を眺めよう。
④「隠れているものは無いかな？」……スポットライトだけ見ず、周囲の暗がりにも目を向けよう。

＊情報をしっかり発するためにつぶやくべき
≪4つの自問の言葉≫
①「何を伝えたいの？」(明確さ)……自分が伝えたいことをハッキリと。何度も自分の胸に取材しよう。
②「キメつけてないかな？」(正確さ)……誤解を招く表現で、相手を思い込みにミスリードせぬよう。
③「キズつけてないかな？」(優しさ)……悪意がなくとも、加害者になってしまうことが。要注意！
④「これで伝わるかな？」(易しさ)……自分の基準でなく、何も知らない受け手の身になって伝えよう。



◆特別講演Ⅱ

セレブオネエ・ピカ子と ドクター北村　思春期を語る

メークアップアーティストのピカ子（本田ヒカル）氏と日本家族計画協会理事長・ぐんま思春期研究会顧問の北村邦夫氏の対談、と言うよりは漫才という雰囲気であった。

その様子を再現するのは、紙幅の関係もあって不可能なので、北村氏がレジメに書かれたことの一部を再録する。

ピカ子と僕（北村）との出会いは５年前に始まった TBS 深夜の恋愛バラエティ番組「私の何がイケないの？」だった。（中略）

彼は 25 歳の時に、ブエノスアイレスに赴任していたご両親に宛てて、ファックスで自分がゲイであることをカミングアウトした。父親からの返信は「同性愛っていうのもひとつの愛の形だよな」であったという。そんな父親に育てられたことをまず羨ましく思う。（中略）

この特別講演が、セレブオネエとまで賞賛されるようになったピカ子の生き様を通して、LBGT への理解を深める機会となれば幸いである。なお、メイクアップアーティストとして大活躍しているピカ子を群馬の地にお招きする機会に恵まれたので、リアルでナチュラルな女性の美しさを作り上げるというピカ子の仕事の一端もお見せできる企画も用意している。

実際に、この特別講演は、ピカ子の生きざまとその芸術的仕事の一端を見ることができた。

◇第２日目８月６日（土曜日）

大会２日目は、午前９時 30 分～ 11 時 50 分まで６会場に分かれて６つの分科会が開かれた。12 時～午後１時までは、女性クリニック We ！ TOYAMA 院長の種部恭子氏を講師に、「子宮頸がん予防について正しく伝えるために検査とワクチンについて考える」をテーマにランチョンセミナーが２階ホールで開催された。

その後、午後１時 10 分～３時 50 分まで、課題別講座が６つの会場で開催された。

◆分科会◆

午前９時 30 分～ 11 時 50 分まで６会場に分かれて６つの分科会が開かれた。

◆第１分科会

小学校における性教育の実践

前橋テルサ９階の「つつじの間 A」では、２つの小学校における性教育の実践発表があった。

神奈川県横浜市立市場小学校の大久保順子主幹養護教諭の発表は、「小学校の実践～自分を大切に思える子を育てる性教育～」と題したもので「自己肯定感」「保護者との連携」「学校全体の共通理解」をキーワードとした性教育の実践報告であった。

横浜市では、市の指針として、

●学校における「性に関する指導」は児童生徒の発達の段階に応じて、すべての教職員により体育科保健領域、保健体育科保健分野、保健体育を中心に他の教科や領域等を含めて教育活動全体を通して体系的、組織的に行われる。各教科の内容とその関連、指導方法について、すべてのの教職員の共通理解を図ることが重要である。

としている。また、個別指導についても、

●学校全体の指導計画との関連を図り、指導の継続性を意識して、教職員の共通理解のもとに進める。

としており、すべての教職員が納得できる内容で指導することを重視している。

東京都東久留米市立第十小学校の三浦尚介主幹教諭と荻本結加養護教諭は、「チームによる教科横断的な

分科会の様子

性教育～担任と養護教諭の連携を通して～」と題した４年生を対象にした教科横断的な性教育の実践報告を行った。

この実践は、子どもから意見や発言を引き出すことやねらいにつなげる部分及び具体的な作業の指示を担任が行い、導入や専門的な説明の部分を養護教諭が担当する性教育の報告であった。

◆第２分科会
中学校における性教育の実践

８階「けやきの間 A」では、中学校における性教育の２つの実践報告が行われた。

栃木県真岡市立真岡西小学校の髙津朱美養護教諭は、真岡市養護教諭部会（中学校）が取り組んだ「養護教諭と担任が連携した学級活動における性教育の資料の作成と活用」と題した実践報告を行った。

学級活動における性教育の資料は、真岡市内９校の養護教諭が作成したもので、各学校で実践し、教員や生徒からの感想や授業の反省などを生かし改善を繰り返された取り組みで、携帯電話をスマートフォンに、メールを SNS に変えるなど常に状況の変化に対応したものにしているという。

北海道札幌市立柏中学校の井上隆司教諭は、「柏中学校の性教育の取り組み」と題した報告を行った。

柏中学では、性教育を教育目標の実現のために欠くことのできない重要な指導の側面として、昭和 42 年度より性教育を教育課程に位置づけ、実践的研究を積み重ねている。同校には、教科・道徳・特別活動・性教育の４つの研究委員会が組織されている。

性教育研究委員会での主な取り組みは、①年間指導計画、題材配列等の検討、②指導案と教材や資料の事

分科会の様子

前検討と学年への提示、③授業実践の記録・保存、④性教育に関わる共通理解（校内研修会）、⑤「性意識・性行動実態調査」の実施・分析・活用、などを継続的に続けている。

調査活動は、全教員が指導にあたって、授業改善につなげているという。

◆第３分科会
高等学校における性教育の実践

９階「赤城の間」では、２つの高等学校における性教育の報告があった。

千葉県立船橋東高等学校の赤澤宏冶教諭は、「高等学校における HPV 及び子宮頸がんの予防教育」と題した授業実践の報告を行った。

赤澤教諭は、レジメのなかで、研究目的について、「思春期の生徒たちは、HPV ワクチンの優先接種対象者である。彼らが１次予防の予防接種を受けるのか、２次予防の子宮頸がん検診を受診するのか、あるいはそれらをしないのか。どんな選択をするにしても、まずは正しい知識を持つことが非常に重要である」と述べている。副反応の問題など、マスコミなどで取り上げられることの多い HPV ワクチン及び子宮頸がんをテーマにした授業実践として、貴重な報告であった。

共愛学園前橋国際大学の大森昭生学長は、「若者の『親になること』に係る意識と高大連携コラボゼミの実践から見えた高校生の未来像形成の可能性」と題した報告を行った。

大森氏は、文部科学省の科学研究費助成を受けて実施した「『親になること』の今日的意義の再検討と青年期のための次世代教育プログラム開発」によって見えてきた若者の意識及び 2014 年度から実施している

高大連携コラボゼミの取り組みについて報告した。

この２つの取り組みから見えてきたのは、多くの若者が、親になるための条件として、非常に高いハードルを設定していることであるという。

◆第４分科会
特別支援学校における性教育の実践

８階「けやきの間 B」では、東京都港区立港南中学校の「特別支援学級における性教育の実践」及び群馬県前橋市立前橋特別支援学校の「性に関する指導～保護者との連携のための取り組み～」の実践報告が行われた。

港南中学校の櫻田千恵教諭は、同校の性教育の歩みと特別支援学級（知的障害学級）における性教育の実践について報告した。特別支援学級単体での性教育は平成 26 年度から、一学期「思春期の心の変化（異性に対する関心や関わり方）」、二学期「二次性徴」、三学期「生命尊重」をテーマに年３回実施している。

前橋特別支援学校の荻原宏美養護教諭は、重複障害や重度の障害をもつ児童生徒の知的障害特別支援学校の性教育の実践について報告した。同校では、小学部で「正しい方法で体を清潔にすることができる」、「心や体の成長にともなう体の変化や性差を理解できる」、中学部で「進んで体を清潔にし、保持することができる」、「体の変化や性差を理解し、社会生活に必要な生活習慣を身に付け、行動することができる」を目標とした教育活動を行っていることを報告された。

◆第５分科会
IT 社会における性教育の実践

２階ホールでは、IT 社会対応の２つの報告があった。

群馬県東吾妻町立原町小学校の富澤久恵養護教諭、群馬県立吾妻特別支援学校の島村美保養護教諭の実践は、「自他を大切にし、自らの行動や感情をコントロールできる子どもの育成～地域ぐるみで取り組むアウトメディアの実践を通して～」と題したアウトメディア対策「３つの提言」を柱とした実践報告であった。

「３つの提言」とは、①メディアへの接触は１日２時間以内にしよう、②食事の時はテレビやゲームをやめて家族がふれあう時間にしよう、③小中学生に携帯電話を持たせるのやめよう、というもの。

群馬県こども未来部子育て・青少年課の塚家隆雄氏の「『おぜのかみさま』で子どもを守ろう　IT 社会における健全育成の実践」と題した報告は、青少年の犯罪被害防止、インターネットの危険性やルールを子どもたちや保護者等にわかりやすく理解できるセーフネット標語「おぜのかみさま」の普及活動であった。

「おぜのかみさま」とは、インターネットを利用する上で、注意しなければならない７項目の一文字を組み合わせた標語である。

①お：写真をおくらない
②ぜ：ぜったいあわない
③の：個人情報をのせない
④か：悪口等をかきこまない
⑤み：有害サイトをみない
⑥さ：出会いをさがさない
⑦ま：ルールをまもる

◆第６分科会
相談機関における性教育の実践

９階「つつじの間 B」では、専門相談機関における性教育の２つの実践報告があった。

医療法人社団向日葵会まつしま病院助産師の幸﨑若菜氏は、助産師という専門職の立場から報告を行った。「子宮と地球にやさしい病院」というシンボルをかかげるまつしま病院は、産婦人科・小児科が主体の一次医療機関で、心療内科・精神科を併設、医療ソーシャルワーカーが週３回勤務している東京都江戸川区内唯一の入院助産制度利用可能施設である。

幸﨑氏は、同病院での「妊娠人工中絶における性教育」、「若年妊婦に対する性教育」の実践報告とあわせて、若年妊婦における親への介入などのカウンセリングの事例を報告した。

群馬県性暴力被害者サポートセンター「Save ぐんま」相談員の押江幸子氏は、平成 27 年６月に設置されたサポートセンターの活動を報告した。同センターは、性暴力被害者の心身の負担軽減と早期の健康回復並びに被害の潜在化防止を目的に設置された群馬県の中核的的サポートセンターである。押江氏は、同センターが県内 31 の産婦人科医療機関の協力を得ているほか群馬県警や児童相談所、女性相談所等の関係機関とも連携

して、被害者の緊急避妊や性感染症検査等の医療的・経済的支援、精神科への受診や臨床心理士によるカウンセリング等の心理的支援、弁護士による法律相談の法的支援など幅広い活動を行っていると語った。

◆課題別講座◆

午後1時10分～3時50分までは、課題別講座が6つの会場で行われた。

◆課題別講座Ⅰ

女の子の性をめぐって
～女性アスリートを応援しよう！～

9階「赤城の間」では、あおもり女性ヘルスケア研究所の蓮尾豊所長が、「女の子の性をめぐって～女性アスリートを応援しよう！～」をテーマに講演を行った。

女子マラソン選手など、女性アスリートの長期無月経が報告されている。蓮見氏は、「女性のライフステージと性ホルモン」、「正常な月経とその仕組み」、「卵巣機能・女性ホルモンの役割」、「女性アスリートに起こる月経トラブルとその対策」などについて解説した。そのうえで、「すべての女性に何でも相談できる婦人科ホームドクターをもってほしいと願っています。婦人科は診察でなくまず相談に行く所なのです」と締めくくられた。

◆課題別講座Ⅱ

若者のライフデザインをめぐって
～健康を育てよう、人生をデザインしよう～

9階「つつじの間A」では、女性クリニックWe！TOYAMA院長の種部恭子氏が、「若者のライフデザインをめぐって～健康を育てよう、人生をデザインしよう～」をテーマに講演した。

種部氏は、レジメの中で次の様に語っている。

「女性のライフサイクルは女性ホルモンと社会的要因の影響を大きく受け、ライフステージごとに健康課題が変遷する。女性特有の健康リスクがあり、思春期からのからだ作りが成熟期や老年期の健康課題、ときには次世代にも影響を与えるため、若いうちから健康を育てる必要がある」と述べ、「日本においては

課題別講座の様子

イエ、結婚、跡継ぎにこだわる部分があり、これがより少子化を加速させているように思えてならない。思春期までは、望まない妊娠の防止の目的で『No sex』を刷り込むような性教育がなされる。一方で、20代になると手のひらを返したように結婚や妊娠・出産を期待されるようになる。この間、豊かなセクシュアリティについて学び考える機会が与えられているだろうか？」「学校性教育も、包括的性教育に向けて舵を切る必要がある」と強調された。

◆課題別講座Ⅲ

男の子の性をめぐって
～思春期男子への性教育再考！～

聖隷浜松病院泌尿器科主任医長の今井伸氏は、「男の子の性をめぐって～思春期男子への性教育再考！～」をテーマに、思春期男子の性教育の問題点を取り上げ、男子の性教育の在り方について講演を行った。

今井氏が診療した性交渉ができない「未完成婚」カップルの例をあげながら、学校教育における性教育の問題点を取り上げ、望ましい「思春期男子の性教育」の在り方を示した。

今井氏は、思春期男子への性教育のメインテーマは「射精教育」であるべきと考えていると言い、性教育講座は、男女共通の必要な知識「総論」と、男女別により深い内容の「各論」に分けて行われるのが望ましいと述べている。

実際に今井氏が行う男子向けの思春期講座は、次の様な流れである。

①男子の体（ペニスと精巣）
②思春期特有の性器の悩み
③マスターベーション

④女性の体
⑤セックス
⑥避妊
⑦性感染症
⑧性の多様性

◆課題別講座Ⅳ

思春期の DV をめぐって

～大好きって相手の幸せを考えること～

9階「つつじの間B」で、ウィメンズクリニック・かみむら院長の上村茂仁氏は、「思春期の DV をめぐって～大好きって相手の幸せを考えること～」をテーマに、LINE で寄せられる相談をもとに DV の現状、原因、その対応について講演された。

上村氏は、レジメの中で、デート DV を次の様に定義している。「もし貴方が、自分の幸せと相手の幸せを混同してしまっていた場合、自分の幸せが二人の関係のすべてだと勘違いしてしまいます。そしてこうすべきだという規定を自分で勝手に作って相手をその規定に押しはめようとし始めます。もちろん相手は自分の意見を言ってくるのですが、自分の幸せのことばかりで頭がいっぱいの貴方は、行動を我慢することができなくなっています。そして約束をたくさん相手にさせる、精神的に追い詰める、行動を規制するなどの方法を使って貴方が相手をコントロールし始めた時、二人の関係をデート DV と呼びます」。

「愛するということは相手のために自分のわがままや自分の欲望を我慢できることなのです。大好きって相手の幸せを考えることです」と述べている。

◆課題別講座Ⅴ

施設で暮らす子どもたちをめぐって

～社会的養護として性の支援を学ぼう！～

8階「けやきの間A」で、児童養護施設エス・オー・エスこどもの村自立支援コーディネーターの佐々木玄氏は、「施設で暮らす子どもたちをめぐって～社会的養護として性の支援を学ぼう！～」をテーマに、施設の実態を報告された。

施設に入所している子どもたちは、コミュニケーションや距離感に問題を抱える子どもたちが多く、入所

課題別講座の様子（ワークショップ）

の理由で最も多いのが虐待であるという。施設では、あえて性教育という言葉を使わず教育でなく支援と言っているという。

施設での実践については、まず職員の知識や技術の向上が大切であるという。性問題に取り組む施設では、取り組み始めに性問題が多発することが多く、管理職が「寝た子を起こすな」と言い、取り組みができなくなる施設が多くあるのが実情があるが、佐々木氏は、このような状況が起きるのは、職員の性に対する意識が高まり、性の問題を発見できるようになったので、その後は性問題が少なくなっていく、この時期を乗り越えるのが施設の支援では重要であると強調する。

◆課題別講座Ⅵ

ピアカウンセリングをめぐって

～思春期ピアカウンセリングからの発信～

8階「けやきの間B」で、高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科学科長の池田優子氏は、「ピアカウンセリングをめぐって～思春期ピアカウンセリングからの発信～」をテーマに、ピアカウンセリングの解説とワークショップを指導した。

ピアカウンセリングは、日本においては「健やか親子 21」の重要な柱として、10 代の人工妊娠中絶、性感染症の増加、性交経験の若年化の進行の中で、新たな思春期の保健対策の強化と健康教育の推進に効果的な方略としてその有効性が認められ注目を集めている。

2日間の大会は、その内容の多様性もあって充実したものであった。次回の第 47 回全国性教育研究大会は、2017 年 8 月 21 日（月）～ 22 日（火）に「性教育における今日的課題～学校教育での解決を目指して～」をテーマに、岡山県立大学で開催予定である。

LINEでつながる

Dr.上村茂仁の 性の悩みクリニック

かみむら しげひと
ウィメンズクリニック・かみむら院長（岡山県岡山市）、医学博士

連載第6回 ››› 昨日エッチした、外出しだが妊娠の可能性は？

花火大会の後、彼女と sex しました。
コンドームを持ってなかったので、中には出さないで外に出したのですが、妊娠する可能性はあるのでしょうか？　もし可能性があるのなら、昨日のことなのですが、今からなんとかできますか。

膣外射精、いわゆる外出しの場合、勃起した男性性器の表面にはカウパー氏腺液が出ています。その中に精子が含まれていることがあります。また、いかに膣内射精を我慢してもなかなか完全に我慢できるものではありません。従って膣外射精の妊娠率は、１年間で20%にも及びます。緊急避妊については、右下の「知ってほしいこと」を参照してください。

クリニックで診療していると思うのですが、連休や長期休暇、または誕生日、クリスマスやバレンタインデーなどの後に緊急避妊薬を求めて来院する患者さんが非常に多いことです。

恋人との大切な時間をいつもよりゆっくり共有することができる、特別な日だから何かイベント的なことをしないといけないとか、それなりの事情があるのでしょう。また今までそんな関係でなかったカップルがこの日をきっかけに性行為を開始するのでしょう。

私は、きちんと緊急避妊をしに来院する患者さんは素敵だと思います。愛し合う恋人同士がセックスをすることは何も問題ないと思うし、それどころか愛を育む為には積極的に行われてもいいと思います。セックスは、愛情の表現として行われるべきであり、その結果として赤ちゃんを授かるということだと思います。ただし、いくら愛を訴えても妊娠する行為であるのは間違いないことです。赤ちゃんができたら学生だから今は困る、また、相手のことそんなによく知らないし、結婚なんてとても考えれないというような関係であれば、きちんと避妊することが必要です。

避妊はしない、でも愛の為にセックスはするでは自分勝手すぎます。若い時は普通は親や大人に隠れてセックスをします。お父さんやお母さんに今日はセックスしてくるねって出かける人はほとんどいないでしょう。いや、親にそんなことは言うべきではありません。自分の判断できちんと決めて行うことです。確かにその判断は難しいでしょう。相手の本当の姿ってなかなかわからないものです。しかし、それだからこそ、隠れて自分の責任で行うからこそ、きちんとした避妊と性感染症予防が必要なのです。

コンドームを購入してつける練習をし、女性は婦人科を受診して自分にあったピルを処方してもらいます。ピルの処方には3000円ほどのお金がかかります。でも自然に行ったら妊娠する行為を妊娠しないように安全に行うわけですからお金が伴うのは当然です。セックスはタダという人がいますがとんでもない勘違いです。このお金が払えない、婦人科受診ができないという人は、セックスをすることはできないのだと思ってください。ピルとコンドームの併用は絶対条件なのです。このことを中高生にきちんと話して理解してもらうことが私たち大人の使命なのだと思います。

知っておいてほしいこと

コンドームが破れた 外れた
ピルを正しく 服用できなかった
レイプ被害 にあった

→緊急避妊法
⦿どうしても妊娠を回避するための避妊法
⦿性交後に服用する薬で、日常的な避妊法ではない
● 72 時間（3日）以内に１回服用
●金額：15000 円
●産婦人科で処方される
● 100%避妊に成功するわけではない

レイプ等の場合、警察に届け出ると公費で負担される

男子の性 隔月連載 15
ブレーキがかかる人、かからない人

岩室紳也
オフィスいわむろ代表
厚木市立病院 泌尿器科

AV で病むこころ（続編）

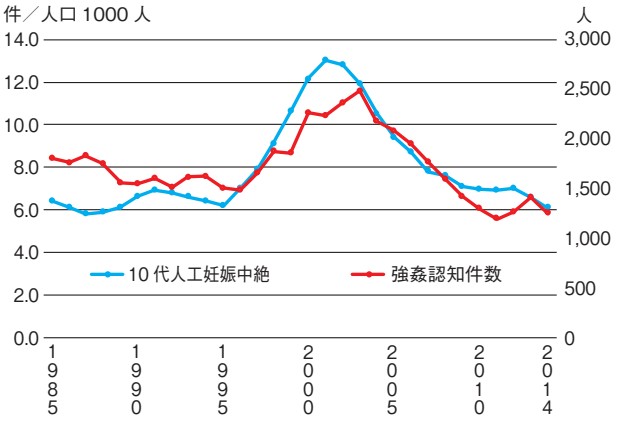
前回（No.64）の原稿の最後が「AV（アダルトビデオ）で病むこころ」だったのですが、危惧していたことがまた起こりました。強姦、レイプ事件です。といっても、実は強姦事件は認知されているだけで年間 1,000 件以上、毎日 3 件以上起こっているので、またという表現は適切ではありません。しかし、強姦を一般の人が意識するのは、有名人が事件を起こし、かつ、マスコミが報道した時だけではないでしょうか。

この連載でいつも悩むのが、男子が悩んだり、直面したりする事象とその解決方法を紹介すべきか。それとも、男子が抱える様々なリスク、社会の根底にある課題について問題提起するべきか、です。連載第 1 回目に書いた「包茎」も、よくよく考えると、仲間で情報を共有し、銭湯で体を見せ合っていれば、そして年配者が「チンポコむいて洗ってから湯に入れ」と叱る環境があれば、敢えてここで解説する必要もないはずです。

事象そのものの解説は一見簡単で、強姦も「犯罪です」、「ダメ絶対」と言っておけばそれ以上の説明も不要と思っている人が多いのが実は問題の根底です。一方で AV が強姦に関係しているのかを証明しろと言われても、正直なところ証明できません。しかし、そのヒントを探るべく、経年的なデータを他の性の指標と比べてみると、表面化している事象の根底に潜んでいる問題を考えるヒントが見えてきます。

強姦件数の推移と 10 代の人工妊娠中絶の推移を重ねると傾向が合致していることがわかります（図）。クラミジア罹患の推移も同じような傾向です。10 代の人工妊娠中絶の推移には関係性の希薄化が影響し、急増は寂しさからセックスに走る女子が、急減は草食化した男子によるものと考えています。ただ、草食化の原因が AV だとすると、AV が草食化していない男子を逆に強姦に追いやって強姦が急増し、さらなる AV の浸透で自信喪失の結果、セックスを拒否する男子が増え、強姦が急減したと考えられないでしょうか。

図　10 代人工妊娠中絶と強姦認知件数の推移



総務省統計局人口推計、厚生労働省衛生行政報告例の概況及び平成 27 年版『犯罪白書』より岩室作成

紅音ほたるさんの遺稿

前回のタイトルを「ファンタジーとリアルの逆転現象」にしたのは、『中高生からのライフ＆セックスサバイバルガイド』（評論社）の中の「そんなセックス、本当はないんだよ」が遺稿となってしまった元 AV 女優の紅音（あかね）ほたるさんの言葉、「AV はファンタジー（空想、幻想）」を受けてのものでした。

ＡＶの世界の中では強姦・レイプシーンが数多く描かれています。それだけ描かれているということはそのような空想、幻想を期待する男の欲望が AV に表現されている証でもあります。紅音ほたるさんの活動の原点となったのも、多くの男性たちがファンタジーをリアルと誤解し、セックスを誤解し、暴力的なセックスを相手に実際にしたり、逆に AV で描かれているような激しいセックスができないと、セックスを行うことに対して臆病になっていたりする状況に対して警鐘を鳴らすためでした。

＊　　＊

常識と非常識の分かれ目

こう書くと、AV はファンタジー、空想、作り物の世界であり、リアル、現実と混同すること自体が「オカシイ」と一刀両断し、それ以上考えようとしない人が多いのではないでしょうか。そのように思っている人がよく使う

言葉が「常識」です。今こそ考えなければならないのが、その「常識」が身につく人と、身につかない人の違いが何によるものかです。こんなことを考えていた時に二つの相談を受けました。触法少年の更生支援の相談と、知的障がいを抱えている人たちへの性教育の相談でした。

＊　　＊

触法少年への指導

性にからむ触法といってもいろいろです。盗撮から強姦致死など、いろいろありますが、警察も単に処罰するだけではなく、更生に向けた対応を考えています。しかし、それに関わっている方の話を聞けば聞くほど、人が「常識」を身につける過程を、環境を考える必要性を痛感させられます。

いつもスマホを持ち歩いている男性の皆さんは、どうしてエスカレーターで盗撮をしないのですか。「警察に捕まるから」、「犯罪だから」と「正解」を答える人は、自分がどうしてそう思え、自制できる、欲望にブレーキがかけられるのかを考えてみてください。

＊　　＊

知的障がい者への性教育

知的障がい者への性教育の依頼はよくあるのですが、その意図を聞く限り、解決したい性のトラブルは、実は本人の困りごとの場合もありますが、多くの場合は周りが困ってしまうことです。例えば「望まない妊娠を避けるために」という性教育を希望される関係者の本音は、意外と「本人の望み」ではなく、「関係者の思い」です。こう書くと「岩室さんは障がいの当事者ではないからそんな悠長なことが言える」とおしかりを受けるのですが、これは健常者でも同じパターンの発想で指導が行われ、成果を出していないから敢えて指摘させていただいています。

＊　　＊

当事者に寄り添う難しさ

このような事例を皆さんはどう考えますか。自分自身の家庭で、親が離婚後、親権者となった親が自分のパートナーを引っ張り込み、子どもの存在も気に留めずセックスをしている。いたたまれず夜の街を徘徊する子が、命の大切さの授業を受け、自分にも子どもができたらさぞかし素敵な家庭が築けることだろうと夢想し、めでたく望んだ妊娠。でも周囲はまだ「子どもなのに……」と攻め立て中絶をさせる。

実は触法少年が巻き込まれる性的なトラブルも、知的障がい者が巻き込まれる性的なトラブルも、健常者と言われる人たちが巻き込まれる性的トラブルも背景はまったく同じではないでしょうか。もちろん当事者自身の状況は同じではありませんが、その人たちが抱えている問題の背景は実は同じです。

＊　　＊

相談ができない理由を考えてください

もっともお粗末、かつ人間の根底にある意識を理解していない大人たちがよく口にする言葉が「相談して欲しい」や「相談してくれていれば」です。そもそも妊娠したら、出産したらどうなるのかがイメージできない人は「相談」ということも、言葉も思いつきません。「自分が強姦事件を起こしたらどうなるか」が考えられる人は事件を起こしません。そもそも自分がしていることが「強姦」だということも考えていないでしょう。ここまではっきり書くと、皆さんの脳裏にはどのような言葉が浮かんだでしょうか。「ではその人はバカなのですか」、「病気ですか」ではないですか。

＊　　＊

人は経験に学び、経験していないことは他人ごと

盗撮をした人が、誰にもばれずに成功したら、その一回でやめられないどころか、捕まらない経験を重ねるほど、盗撮を繰り返すでしょう。このことをまともな友達に話をすれば「バカ、すぐ消せ、捕まるぞ」と言ってくれるでしょうが、悪い仲間に見せると、「俺にくれ」と言われ、それをネット上に○○撮影と書かれてバラまかれるかもしれません。そうなれば次の犯罪の予防にはなるのかもしれませんが……。

AVを見て、自分の好みの人に強引にセックスを迫ったところ、結果として思いを達成できたという経験をした場合、「自分が望めば、望んだ人とのセックスができる」と勘違いしてしまいます。仮にその事実を周囲の仲間に話したとしても「お前はもてるから」程度の反応しかないでしょうし、「本当に相手が同意していたのか」と問いただす人はいないでしょう。

性にまつわる話を本気で話し合い、何が正しいか、反社会的かを教えてくれる関係性はなかなか望めません。で、どうするか。みんなで考え続けましょう。

BOOK GUIDE
今月のブックガイド

昼、介護職。
夜、デリヘル嬢。

家田荘子著
ブックマン社
定価 1300 円＋税

要介護高齢者の性

「はじめに」でも「あとがき」でも著者がまず断っているのは、「この本は、介護職の女性＝デリヘル嬢をしていると言っているのではない」ということ。なので本ページにおいても、冒頭にそのことを記しておきたいと思う。概して賃金の安い介護職の女性の中には、生活費の不足や目標のためなど、さまざまな理由から副業を持つ人がおり、本書ではその副業に性風俗を選んだ女性たちを取り上げているに過ぎない。

数多くの介護職の女性を取材したという著者が、介護の現実を伝える一冊をまとめるにあたり性風俗と関係している女性たちに絞ったのは、「今の日本に起こっている一面が見えてきやすいという理由から」とのことだ。「その結果、特に目立って見えてきたのが介護職の賃金の安さ、介護職の地位の低さ、そして利用者さんたち高齢者の性欲だった」。

インタビューで語られる高齢者の性の現実は本当に凄まじい。認知症の入っている一人暮らしの 91 歳の男性について「とにかくエロすぎて。胸はすごい触るし、ズボンの上から下も触ってくるし、『やらせろ』って言うんですよ」。「九二歳の、酸素吸入をつけた寝たきりの男性なんですけどね。トイレに行く度、自分でしごき出すんですよ」。四肢の麻痺した高齢者の介助で「動かないはずの体に、いきなり抱きしめられて、ベッドに押し倒されたんです。私の体に覆いかぶさったまま興奮して（略）怖かったです」。こんなエピソードが次から次へと飛び出してくる。

著者はなんと、介護ヘルパーに扮して、エロオヤジで有名な一人暮らしの 85 歳男性宅へ訪問するという潜入取材も行う。結果、亡くなった妻とのセックスの思い出話など散々下半身自慢を聞かされたあげく、「二万円あげるから」と布団に誘われる。きっぱり断って、帰る前に仕方なく差し出した握手の手をすごい力で引っ張られ、「レイプされるのではと、私は身の危険と恐怖を感じた」。

本書を読みながら、（こういう話は、ずいぶん前に聞いたことがあるな）と思い出した。日本性科学連合が年に 1 回開催している性科学セミナーで、2008 年に「高齢者の性と介護」と題した講演を田園調布学園大学教授（当時）の荒木乳根子さんに行ってもらったのだ。荒木さんは、川崎市、横浜市の 292 の訪問介護事業所に調査票を送付して女性訪問介護員に記入してもらった結果について報告してくれた（調査時期 2007 年 11 月～ 2008 年 2 月）。抄録には、有効回答数 435 のうち、現在担当している高齢者からの性的行動がある人は 18.6%、過去に経験がある人は 40.7% と高率だったと記されている。具体的な事例も語られた講演では、要介護高齢者の性欲という、それまであまり考えたこともなかった現実を目の前に突きつけられ、なんともいたたまれないような気持ちになったことを覚えている。

ただでさえハードワークな介護の現場で、介護職の女性たちがセクハラやレイプの恐怖に曝されていることを世間は広く知っているだろうか？　著者は、介護保険法が施行された 2000 年から「プラチナ世代の愛と性」に注目して取材をしてきたが、「高齢者の性は気持ち悪い」と何社もの出版社から発表を断られてきたという。しかし、高齢化率が上がり続け、すでに人口の 4 人に 1 人が高齢者となった我が国で、いつまでも目をそらし続けていられる問題ではないだろう。

介護の現場でセクハラが横行する理由を著者は、介護職はいてくれなくては誰もが困る職業なのに、賃金も地位も低いため安く考えられてしまうのだと分析している。まずは介護の現実を知り、将来の自分のこととしてみんなで考えることが必要だ。

（日本性科学連合事務局長　今福貴子）

研究会、研修会等の情報を下記まで、郵送または、Fax03-5800-0478でお寄せください。

〒112-0002　文京区小石川2-3-23春日尚学ビル B1
日本性教育協会「JASE ジャーナル」係

▶▶ 10月5日（水）12：45～14：45

平成 28 年度　家族計画研究集会 in 岡山

LGBTへの理解を深める

内　容

講演（12：50 ～ 13：50）
「LGBT への理解を深める」
中塚幹也（岡山大学大学院教授・GID 学会理事長）

パネルディスカッション（13：50 ～ 14：40）
「LGBT として生きている自分」
北村邦夫（日本家族計画協会理事長）
中塚幹也、LGBT 当事者の皆さん

会　場　岡山コンベンションセンター２階
（岡山市北区）

問い合わせ等

参加費／無料（軽食付）　　定員／ 200 名（要事前申込）
対象者／保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教諭、教職員、学生等
問合せ先／（一社）日本家族計画協会　研修課
〒 162-0843　東京都新宿区市谷田町 1 － 10　保健会館新館
TEL　03-3269-4785　　FAX　03-3267-2658
URL　http://www.jfpa.or.jp

10/18（火）　9：40～16：20

平成 28 年度

母子感染の予防と対策についての研修

【内　容】

講義①「押さえておきたい母子感染の基礎知識～小児科医の立場から～」森内浩幸（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）
講義②「押さえておきたい母子感染の基礎知識～産婦人科医の立場から～」小島俊行（三井記念病院産婦人科）
講義③「B 型肝炎の母子感染予防」
須磨崎亮（筑波大学医学医療系小児科）
講義④「患者会（当事者）の立場から」
渡邊智美（先天性トキソプラズマ＆サイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会」代表理事）　ほか

【会　場】平和と労働センター・全労連会館２階ホール
（東京都文京区）

【主催・問い合わせ先等】

主催／厚生労働者　参加費／無料　定員／ 50 名（要事前申込）
対象者／母子感染に関わる保健師、助産師、看護師等
運営事務局／（一社）日本家族計画協会
〒 162-0843　東京都新宿区市谷田町 1 － 10　保健会館新館
TEL　03-3269-4785　　FAX　03-3267-2658
URL　http://www.jfpa.or.jp

10/29（土）　10：00～17：00

日本性感染症学会
第７回
関東甲信越支部総会・学術講演会

性感染症のホットな話題を学ぶ

主な内容

開会挨拶：齋藤　益子（帝京科学大学医療科学部看護学科教授）
講演①：11：20 ～ 12：10
「STD とワクチン」
岡部信彦（川崎市健康安全研究所）
ワークショップ：14：40 ～ 16：00
「思春期からの性器疾患」
高波真佐治（東邦大学泌尿器科）、松峯寿美（東峯婦人クリニック）
講演②：16：10 ～ 16：50
「梅毒の動向と予防への提言」
石地尚興（慈恵医大皮膚科）

会　場　東邦大学看護学部第９講義室
（東京都大田区大森西 4-16-20）

問い合わせ等

参加費／会員 1000 円　非会員 2000 円　学生無料
問い合わせ先／日本性感染症学会　FAX 03-3813-4107
〒 113-0034　東京都文京区湯島 2-31-6　湯島堀井ビル３F

▶▶ 11月19日（土）13：00～16：20 ◀◀

性と健康を考える女性専門家の会　シンポジウム 2016

中高年の性
～セックスレス時代の中高年「性」白書～

内　容

13:10 ～ 14:25「データで見る中高年のセックス～ 10 年前と今を比較する～」
14:55 ～ 16:15「中高年の性を語る」
コーディネーター：早乙女智子
堀口雅子（女性成人病クリニック副院長）
堀口貞夫（主婦会館クリニック所長、産婦人科専門医）
荒木乳根子（臨床心理士）
大川玲子（産婦人科医）

会　場　東京薬科大学千代田サテライトキャンパス
（東京都千代田区飯田橋）

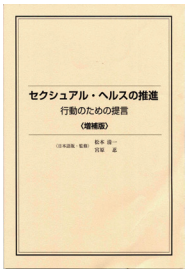
問い合わせ等

参加費／会員 2000 円　一般 3000 円　学生 1000 円（大学院生は除く）
定　員／ 100 名（定員次第締切）
申込方法／名前、所属、連絡先（メールまたは電話番号）を、メールまたは FAX で、「性と健康を考える女性専門家の会」事務局まで
〒 104-0045 東京都中央区築地 2-12-10　築地 MF ビル 26 号館 5F
TEL 03-5565-3588　FAX 03-5565-4914　メール pwcsh@ellesnet.co.jp

2014年3月WAS諮問委員会で承認された改訂版「性の権利宣言」を増補

〈増補版〉『セクシュアル・ヘルスの推進　行動のための提言』

日本語版監修　松本清一・宮原　忍　　◆B5判：72頁、頒価800円



主な内容　セクシュアル・ヘルスの特徴／セクシュアル・ヘルス上の留意点と問題／セクシュアル・ヘルス増進のための行動と戦略／*WAS*の「性の権利宣言（初版）／*WAS*の「性の権利宣言」（改訂版）

※送料：1冊250円、2冊～7冊360円、8･9冊510円、10～12冊870円、13冊～19冊1180円、20冊以上無料。

性教育ハンドブック Vol.6

『「ありのままのわたしを生きる」ために』

土肥いつき著　　◆A5判：86頁、頒価500円

主な内容　港にて（自分史の試み…）／船出のとき（小さなトゲのような思い…）／帆をあげる（教員生活のはじまり…）／舵を切る（「身体改造の」開始…）／嵐の中で／かすかに見えた航路／新たな旅へ

著者プロフィール　1985年より京都府立高校教員。セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク副代表、トランスジェンダー生徒交流会世話人、まんまるの会（関西医科大学附属病院ジェンダークリニック受診者の会）世話人代表など。映画『coming out story』に出演。

既刊〈性教育ハンドブック〉

☆性教育ハンドブック Vol.5　『21世紀の課題＝今こそ、エイズを考える』池上千寿子著　A5判・68頁500円

☆性教育ハンドブック Vol.4　『性教育の歴史を尋ねる～戦前編～』茂木輝順著　A5判・92頁500円

※送料：1～4冊180円、5冊～8冊360円、9冊510円、10～14冊870円、15冊～19冊1180円、20冊以上無料。

◆JASEホームページ http://www.jase.faje.or.jp/pub/pub.html からお申し込みいただけます。
または、Email　info_jase@faje.or.jp　　TEL 03-6801-9307　FAX 03-5800-0478

JASE 性教育・セクソロジーに関する資料室

資料室について

JASE資料室は国内外の性教育、性科学等に関する文献資料を収集している開架式資料室です。文献資料の数は約6万点以上、現在も日々、増え続けています。性教育、セクソロジーに関する調査、研究のためにご利用いただけます。人間の性に関心がある方、ぜひ足をお運びください。

資料室利用方法

【閲　覧】必ず事前に電話で予約が必要です（tel 03-6801-9307）。貸出業務は行っておりません。
【開室日・時間】月～金曜日 10：30～17：30
【休室日】土・日曜日、祝日、年末年始　※この他、会議等で臨時に休室することがあります。
【コピーサービス】コピー料金は用紙サイズにかかわらず1枚10円です。著作権法の許容する範囲で行うものとします。
http://www.jase.faje.or.jp/pub/archive.html

収集文献・資料

統計・調査報告書、ジェンダー・フェミニズム、性教育一般・性教育の歴史的資料、国内雑誌、障害者、セクソロジー（自然科学系、人文・社会学系）、民俗学・文化人類学・風俗、性研究史・性学史、教科書・指導書・学習指導要領、幼児期～青年期、国内学術誌、国際（海外団体資料・海外学術誌）、高齢者・家族問題、文学・評論・エッセイ・文庫・新書、官公庁資料、JASE刊行物、映像資料、個人論文、雑誌記事、新聞記事、絵本・写真集・マンガ、江幡・篠崎・朝山・石川・ダイアモンド文庫、ほか。
http://www3.jase.faje.or.jp/cgi-bin/search1.cgi